

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症心身障がい児放課後等デイサービスきらら

公表日 2026年2月1日

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2				パーティションやカーテンを活用し、活動スペースと、静かにリラックスできるエリアを明確に分ける。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6			8	特に事故もなく、子供が笑顔で帰ってくるので問題はないと思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	4		3	視覚的なスケジュール表があり、次に行うことが本人にも伝わっている。	個々の特性に合わせ、パーティションで視覚情報を遮断した「集中スペース」を設けるなどしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			3	季節の装飾があり、明るい雰囲気心地よい。	活動内容に合わせた空間の使い分けを徹底する
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				リハビリの視点を持った関わりを感じる。	PT・OT・STや看護師による内部研修を定期開催し、姿勢保持や摂食介助等の専門技術の標準化を図る。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			4	子どもの状態の変化に合わせた支援を行って欲しい。	児童の成長やニーズの変化に合わせ、支援プログラムを評価・修正し、そのプロセスを保護者にお伝えしていく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				家庭での困りごとが目標に反映されており、納得感がある。	定期的なモニタリングの結果に基づき、目標のステップアップや修正を保護者と共に行う機会を増やす。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4			10		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			4	計画書は作成時に見たきりで、日々の活動とどう結びついているか見えにくい	の微細な変化を「短期目標の達成状況」として写真や動画と共に報告する機会を設ける。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			4	季節に応じた行事や、新しい感触遊び（スライム、水、光など）を取り入れてくれており、子供が刺激を受けている	月ごとにテーマを設定し、五感に訴えかける活動のバリエーションを増やす。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		8		6	感染症のリスクが心配なので、無理に交流しなくてもよいのではないかと。	児童の体調や特性に合わせ、段階的な交流を検討する。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				契約時に重要事項説明書を用いて、一つひとつ丁寧に説明があったため安心できた。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	7		3		オンライン（Zoom等）の活用や、アーカイブ配信を行い、多忙な保護者でも視聴できるようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	7			体調の些細な変化を報告してくれるので、安心してお任せできる	連絡帳に加え、緊急性が低い相談はメールや専用アプリで受け付ける体制を整える。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			4	専門職（PT・OT等）から直接アドバイスをもらえる機会を増やしてほしい。	必要に応じて看護師やリハビリ専門職が面談に同席し、より専門的かつ実践的な助言を行う。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				親の悩みにも親身に耳を傾けてくれる	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		7	4		家族が自分の時間を確保できるよう、預かり時間中の活動内容を充実させ、家族が「安心して任せられる」環境を作る。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			4	何かあればすぐに相談できる。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			5	連絡帳や日々の様子を写真で見せてくれるおかげで、言葉での説明が難しい子供の様子がよくわかる	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			6	連絡帳は「日々の活動報告」、ホームページは「重要事項・自己評価の掲示」、LINEや書面は「緊急連絡・行事予定」と役割を明確化する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			5	入会時に写真使用の可否を確認してくれたので安心している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			5	職員が行っている医療的ケアの緊急シミュレーションや、防犯訓練の様子を写真付きで報告し、体制が生きていることを伝える。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			4	避難訓練の実施報告があった
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			4	施設内で怪我のないよう配慮されている。 毎月の安全点検の結果や、ヒヤリハット事例に基づいた改善を徹底する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				小さな擦り傷でも、すぐ知らせてくれるので信頼できる。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9			6	児童一人ひとりの落ち着ける場所の確保や、いつも通りのルーティンを大切にしている。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10			4	子どもが、お迎えに来る際にはワクワクして待っています。 活動の中で本人が「できた！」と感じた瞬間を見逃さず、それを写真や連絡帳で保護者に具体的にお伝えしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			1	日々の活動内容が少しマンネリ化しているように感じる 日々の支援が個別支援計画のどの目標に基づいているかを明確にし、定期的なモニタリング報告を通じて児童の成長を実感してもらう。